日本鉄鋼協会記事

第4回理事会 日時: 7月15日 17・00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 湯川会長ほか 21 名.

報告事項 Ⅰ. 第4回編集委員会に関する件. Ⅱ. 第4回企画委員会に関する件. Ⅲ. 第4回研究委員会に関する件. Ⅳ. 北海道支部役員改選に関する件. Ⅴ. 原子力平和利用研究費補助金交付決定に関する件. Ⅵ. 鉄鋼基礎共同研究に関する件. Ⅶ. 訪英視察団報告講演会開催の件.

協議事項 Ⅰ. 名誉会員推挙に関する件. Ⅱ. 評議員会開催に関する件. Ⅲ. 常務委員委嘱に関する件. Ⅳ. 企画委員委嘱に関する件. Ⅴ. クリープ委員会設置に関する件. Ⅵ. 創立50周年記念事業および講演大会日程変更に関する件. Ⅶ. 団体規格に関する件. Ⅷ. 鉄鋼標準試料整備に関する件. Ⅸ. 海外鉄鋼事情調査に関する件. Ⅹ. 「たたら」製鉄法の学術的技術的解明と記録作成に関する件. Ⅺ. 学振主催内部摩察講習会協賛の件. Ⅻ. 日本金属学会主催セミナー協賛の件. XIII. 第5回真空に関する連合講演会協賛に関する件. XIV. クライナー博士特別講演会開催に関する件. XV. 6月中入退会その他会員異動に関する件. XVI. 6月中収支決算の件.

第4回編集委員会 日時: 6月19日, 20日, 場所: 八幡製鉄熱海寮, 出席者: 佐藤委員長ほか30名.

報告事項 Ⅰ. 会費第6号 (6月号) 完成について. Ⅱ. 会誌第7号 (鋼管分科会報告書一臨時増刊号), 第8号 (7月号) および第9号 (製鋼部会報告書一臨時増刊号) 完成予定について. Ⅲ. 造船協会賞候補論文推薦について

協議事項 Ⅰ. 第68回秋季講演大会講演論文の審査. Ⅱ. 同上講演プログラムの編成. Ⅲ. パネル討論会について Ⅳ. 寄稿論文の審査.

第5回編集委員会 日時: 7月16日 17・00 開会. 場所, 協会会議室. 出席者: 佐藤委員長ほか17名.

報告事項 Ⅰ. 会誌第8号 (7月号) 完成について. Ⅱ. 会誌第9号 (製鋼部会報告書一臨時増刊号) および第10号 (8月号) 完成予定について. Ⅲ. 講演論文発表取消しについて. Ⅳ. パネル討論会について.

協議事項 Ⅰ. 寄稿論文の審査. Ⅱ. 会誌第13号 (11月号) 掲載論文の選定. Ⅲ. 第69回講演大会講演原稿締切日について.

第4回企画委員会 日時: 7月7日 17・00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 伊木委員長ほか16名.

議題 Ⅰ. 常務委員増員の件. Ⅱ. 企画委員委嘱の件. Ⅲ. 名誉会員推挙の件. Ⅳ. 創立50周年記念式典行事および講演大会日程に関する件. Ⅴ. 団体規格実態調査に関する件. Ⅵ. 鉄鋼標準試料整備に関する件. Ⅶ. 「たたら」製鉄法の学術的技術的解明要望の件. Ⅷ. 第7回本多記念賞受賞候補者推薦の件. Ⅸ. 第10回偕成学術奨励金受贈候補者推薦の件. Ⅹ. クライナー博士 (クルップ) 特別講演会開催の件. Ⅺ. 「半導体冶金学」「統計熱力学とその金属学への応用」「鋼の加工熱処理」各セミナー (金属学会主催) 協賛の件. Ⅻ. 第5回真空に関する連合講演会 (真空協会10周年記念講演会) 協賛の件.

第4会研究委員会 日時: 6月17日 16・00 開会. 場所: 協会会議室. 出席者: 村田委員長ほか12名.

議題 Ⅰ. 研究委員会の使命の再検討. Ⅱ. 研究委員委嘱に関する件. Ⅲ. JIS 原案作成委託に関する件. Ⅳ. 鉄鋼標準試料委員会に関する件. Ⅴ. クリープ委員会(仮称)に関する件. Ⅵ. 鉄鋼基礎共同研究会に関する件. Ⅶ. 講習会, 講演会の企画運営に関する件.

第5回研究委員会 日時: 7月17日 16・00 開会. 場所: 協会々議室. 出席者: 村田委員長ほか15名.

議題 Ⅰ. 鉄鋼基礎共同研究会に関する件. Ⅱ. 講習会, 講演会の企画運営に関する件. Ⅲ. 研究委員委嘱に関する件. Ⅳ. 設備共同研究に関する件. Ⅴ. 共同研究会運営委員会に関する件. Ⅵ. 団体規格に関する件. Ⅶ. 「たたら」製鉄法の学術的, 技術的解明に関する件. Ⅷ. 東洋レーヨン科学技術賞, 研究助成金候補推薦に関する件. Ⅸ. 金属研究将来の推進に関する件.

常務委員委嘱 その後次の諸氏が常務委員に追加委嘱された.

桂寛一郎 (企画)　森永孝三 (企画)　下川義雄 (企画)

企画委員委嘱 企画委員の任期満了にともない次の諸氏が新たに企画委員に委嘱された.

久芳 正義　野村 純一　萩原 興吉　藤井東蒙男　矢野 武夫　飯島 健一

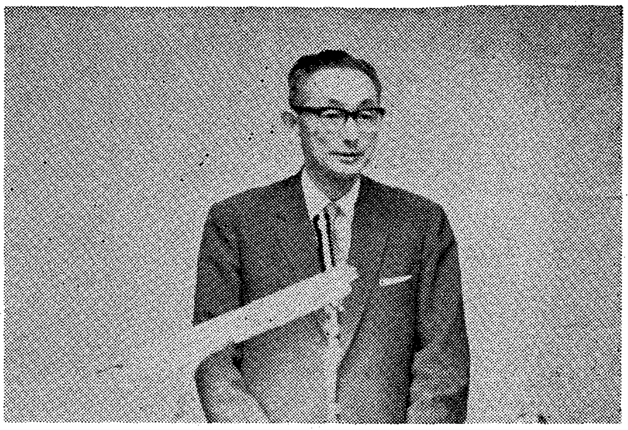
訪英鉄鋼視察団報告講演会開催

東京講演会は7月8日午後1時より, 中央区八重洲大和証券ホールにおいて開催. 次の講演が行なわれた. 参会者400 名に上りはなはだ盛会であつた.

英国鉄鋼業一般情勢について　団長　湯川正夫
原料および製銑製鋼関係について　副団長　芹沢正雄
圧延関係について　団員　吉田　浩
研究関係について　団員　荒木　透

ひきつづき　7月10日午後1時より，北九州市八幡製鉄所技術研究所内で，7月21日午後2時より名古屋市大広ホールにて，7月22日には午後1時より大阪会館にて，また7月31日には午後1時30分より仙台市東北大学金属材料研究所講堂にて講演会が開催され，それぞれの会場聴衆者百数十名の多数を算した．

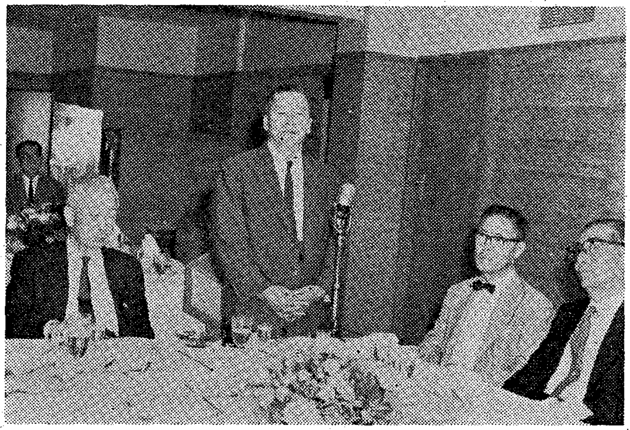
講演および講師は，名古屋，大阪において「圧延関係」の講師吉田浩君が浅田幸吉君に変つた他は東京講演会に同じ．



英国鉄鋼視察報告講演中の湯川正夫団長

故俵国一博士七回忌追悼会開催

本会の創立者，前会長俵国一博士がさる昭和33年7月30日，86才の高齢をもつて逝去せられてから，本年はその七回忌に当たるので，協会主催の下に7月14日午後5時半から東京丸の内帝国ホテル内において追悼会を開催した．席上三島徳七氏ほか10数氏よりそれぞれ故先生の御偉徳を偲ぶ追憶談が交わされ，最後に遺族代表俵信次氏より謝辞があつて午後8時半会を閉ぢた．当日参会の有志約100名に上り頗る盛会であつた．



故人の憶い出を語る西山川崎製鉄社長

事務局機構改正

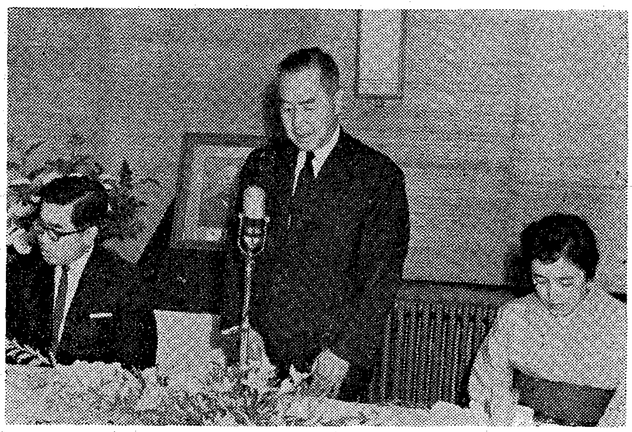
本会事務局の機構がこのたび次の通り改正された．

（組　織）

- 事務理事（参与）
  - 技術部（次長）
    - 部員
    - 調査課
    - 編集課
  - 総務部
    - 庶務課
    - 経理課

（所掌業務）

技術部員	共同研究会，研究委員会その他技術研究関係
調査課	資料・文献・情報等の整備，資料委員会
編集課	鉄と鋼・海外版の編集，講演会・講習会等の事務
庶務課	渉外関係，職員労務管理，物品管理，文書の発受，定例会議（総会，評議員会，理事会，企画委員会，特別資金運営委員会），名簿整備，各賞庶務事項，会誌発送，分譲物の頒布（印刷物，標準試料）会員の入会退会
経理課	出納事務，予算作成と照合，会費，給与，税務



俵信次氏の挨拶

支　部　記　事

北海道支部

役員改選　6月5日開催の支部通常総会において支部役員が次の通り改選された．

支部長　田村純治郎

理　事　萩原　巌　丹羽貴知蔵　金森　祥一　鍵和田暢男　館野　万吉
下田　秀夫　久田　清明　楠野　桂三

監事 西田恵三 前川静弥
評議員 西成基 吉井周雄 長岡金吾 松原喜市 川村信一 伊沢正宜
佐藤健二 高橋長之 小谷守彦 守川平四郎 小山吉郎 亀山貞男
中島長久 北川一智

春季講演会 6月5・6日日本金属学会北海道支部と合同で，北海道大学工学部教室において開催された．講演次の通り．

1. マグネシウムの圧延集合組織 北大工 西成基 ○伊藤洋一
2. 加熱冷却繰返しにより析出するフエライト中の微粒セメンタイトについて 室工大 三浦寛
3. 補強ロールの転動疲労の研究（第2報・寿命におよぼす硬度の影響） 日鋼 荒木田豊 塚田尚史 ○工藤浩一
4. マルチプル型クリープ試験機について 日鋼 渡辺十郎 ○熊田有宏
5. 鋼中硫化物周囲の元素濃度分布におよぼす加工の影響 北大工 松原喜市 ○笠松紀男
6. 室蘭製鉄所平炉工場の除塵について 富士鉄 都築誠毅 海保信恵 森木清 ○玉田学
7. 低炭素鋼鋼材（山形鋼）におよぼす微量 Ni, Cr の影響 富士鉄 岩瀬喜八郎 泉総一 ○草野一郎
8. アノード溶鉄解表面の電子顕微鏡的観察 北大工 ○工藤清勝 石崎紘三 佐藤教男
9. 不銹鋼の耐孔食性の電気化学的判定 北大工 ○石川達雄 能登谷武紀 岡本剛
10. けい素鋼の再結晶 北大工 中江仁 室工大 ○山村秀美
11. けい素鋼の再結晶過程における dislocation etch pit の観察 北大工 中江仁 ○三村康雄
12. パーマロイ電着薄膜の性質におよぼす基板の影響 北大工 前田正雄 ○上田勇雄 島田悠紀
13. 高塩基度焼結鉱製造の研究 富士鉄 城本義光 林高朗 竹本長晴
14. カントバック分析試料の焼結について 開発試 ○鈴木良和 佐山惣吾 山口義明
15. 塩基性平炉精錬過程におけるイオウの挙動 日鋼 畑田鉄男 ○福本勝
16. 酸性鋼さいの酸化速度について 日鋼 中山義隆 ○岩田健宏

渡辺記念講演会 6月5日 14·15 より北海道大学工学部教室において開催．次の講演が行なわれた．

最近の自動車工業用金属材料の現状について トヨタ自動車工業第2技術部長 森田正俊
鉄鋼製錬工学の新しい方向について 名古屋大学工学部教授 森一美

東北支部

事務所移転 東北支部事務所を下記に移転した．
仙台市片平丁東北大学金属材料研究所内

金属加工講習会 鉄鋼協会，金属学会，溶接学会各東北支部共催の下に7月11・12日の両日東北大学工学部金属材料工学科において開催された．

講義	鉄鋼の性質	東北大学工学部教授	門間敬三
	転位の話	同	辛島誠一
	鉄鋼の溶接	同	小林卓郎
	鉄鋼の板加工	東北大学金属材料研究所教授	田中英八郎
実習	鉄鋼の自動溶接作業	東北大学工学部助教授	桑名武
	鉄鋼の材料試験	同	須藤一

関西支部

6月例会 6月27日尼崎市久保田鉄工尼崎工場において開催．
講演 熱風キュポラの操業定律 久保田鉄工（株） 黒田進
見学 久保田鉄工尼崎工場

7月例会 7月25日姫路市富士製鉄広畑製鉄所において開催．
講演 広畑製鉄所の大型工場とその製品 富士製鉄（株） 野田郁也
見学 広畑製鉄所

新入会会員氏名

（昭和39年6月1日～6月30日）

正会員

仲田泰三	八幡製鉄（株）八幡製鉄所技術研究所
高橋延幸	〃 〃 〃
樋口允宏	〃 〃 〃
藤木紘一	〃 〃 製鋼部
野口信雄	〃 〃 戸畑製造所
瓦井伸文	日本特殊鋼（株）
坂本良昭	〃
多田光一郎	〃
鈴木正之	〃
宇多小路勝	住友金属工業（株）鋼管製造所生産技術部

松木則夫	住友金属工業(株)鋼管製造所 生産技術部
馬場俊次	〃 和歌山製鉄所
花田達男	〃 小倉製鉄所
福中昭久	日立造船(株)第二機械設計部
今井由次	〃 〃
島田信郎	日本鋼管(株)技術研究所
村岡信之	〃 〃
川島節雄	日本金属工業(株)川崎工場
田中耕一	〃 〃
栗原健郎	日新製鋼(株)呉工場
森谷尚玄	〃 〃
小柳義明	富士製鉄(株)広畑製鉄所
石亀公夫	川崎製鉄(株)千葉製鉄所
岩淵洋司	関東特殊鋼(株)
石塚隆一	金属材料技術研究所
鈴木敏夫	日本スラーレス(株)直江津製造所
森田惣五郎	東北大学金属材料研究所
高橋善一	名古屋大学工学部
小幡武彦	矢作製鉄(株)
田中叔稜	〃
吉村裕二	〃
和泉純夫	東北特殊鋼(株)
大沼光輝	東北特殊鋼(株)
菅野清	〃
杉内昭元	〃
照井久志	〃
岡田忠夫	トピー工業(株)豊橋製鋼所
中安敏治	〃 〃
稲葉正一	吉川工業(株)
太田庸雄	共英特殊鋼(株)
大塚英幸	寿工業(株)
大庭忠房	佐世保重工業(株)
河合哲朗	石原産業(株)中央研究所
金野秀行	(株)小松製作所
佐和利勝	日本検査(株)
島能久	愛知時計電機(株)
嶋貫孝	東芝電興(株)
東条良彦	日本鋳鋼(株)
中西一夫	関東特殊製鋼(株)広畑出張所
平井繁一	関西製鋼(株)
福島完	自動車鋳物(株)
堀英世	愛知製鋼(株)
浅輪光男	信州大学
青木尚	
鷲岳宏	日本電子(株)
早川治郎	日立金属工業(株)

学生会員

飯田隆俊	熊本大学工学部金属工学科
石川正次	〃
今村世紀	熊本大学工学部金属工学科
内田誠一	〃
大野竜彦	〃
大屋晴男	〃
太田一典	〃
岡崎弘文	〃
岡部永年	〃
川口賢良	熊本大学工学部金属学科
神崎二郎	〃
小島知昭	〃
児島徳太郎	〃
近藤正敏	〃
佐田弘毅	〃
相良卓夫	〃
茂野忠夫	〃
篠原徹男	〃
砂山寛之	〃
田中聡樹	〃
高橋浩一	〃
財部征郎	〃
土岐拓夫	〃
中田和宏	〃
中村直孝	〃
西村章	〃
花木美登	〃
福内宗義	〃
福屋恭一	〃
藤原玄三	〃
真辺誠	熊本大学工学部金属学科
前田洋男	〃
松浦四郎	〃
神酒慎一	〃
宮崎幸孝	〃
安井道郎	〃
山口洋一	〃
吉田幹彦	〃
片山典彦	東北大学工学部金属工学科
北村修	〃
鈴木鼎	〃
落合征雄	東京大学工学部冶金学科
北村雅司	大阪大学工学部冶金学教室大学院
谷口隆	北海道大学工学部冶金学科
飯泉省三	茨城大学金属工学科
榛沢政三	岩手大学工学部機械工学科

外国会員

江支地	中華民国台湾省汐止鎮茄苳里台煉 巷11号
侯抄	中華民国大栄製鋼股份有限公司
張順祥	中華民国唐栄鉄工廠煉鋼廠
崔正吉	韓国仁川重工業(株)

「鉄と鋼」バックナンバー在庫のお知らせ

会誌「鉄と鋼」バックナンバー在庫が下表のごとくございますのでご入用の方は，巻，号数を明記のうえ現金(送料別)を添えて下記宛お申込み下さい.

なお，ごく古いものは整理いたしますので，お申込みは9月末日頃までにお願いいたします.

申込先　東京都千代田区丸の内1—1　日本交通公社ビル　日本鉄鋼協会
振替貯金口座　東京193

号数	残部	金額(円)
第10巻 (大正13年)		
2	3	100
3	2	〃
5	5	〃
7	3	〃
8	3	〃
9	2	〃
10	4	〃
11	4	〃
12	4	〃
第11巻 (大正14年)		
2	3	100
3	8	〃
6	4	〃
7	3	〃
9	3	〃
12	3	〃
第12巻 (大正15年)		
2	2	100
4	4	〃
6	4	〃
7	3	〃
8	2	〃
9	4	〃
10	3	〃
11	5	〃
第13巻 (昭和2年)		
2	4	100
3	3	〃
4	3	〃
5	4	〃
6	5	〃
8	5	〃
9	1	〃
12	1	〃
第14巻 (昭和3年)		
2	3	100
6	3	〃
8	1	〃
9	3	〃
11	2	〃
第15巻 (昭和4年)		
2	2	100
3	3	〃
4	1	〃
6	2	〃
7	1	〃
8	3	〃
10	2	〃
第16巻 (昭和5年)		
2	2	100
3	2	〃
5	3	〃
6	2	〃
7	2	〃
8	2	〃
12	3	〃
第17巻 (昭和6年)		
6	3	100
7	3	〃
9	3	〃
10	3	〃
11	3	〃
第18巻 (昭和7年)		
3	2	100
10	1	〃
第19巻 (昭和8年)		
3	1	100
6	3	〃
7	1	〃
8	3	〃
9	1	〃
10	2	〃
11	3	〃
12	2	〃
第20巻 (昭和9年)		
2	2	100
5	3	〃
10	3	〃
11	3	〃
第21巻 (昭和10年)		
8	4	100
9	8	〃
10	5	〃
11	5	〃
12	3	〃
第22巻 (昭和11年)		
3	9	100
5	1	〃
6	8	〃
7	2	〃
8	2	〃
10	1	〃
11	7	〃
12	1	〃
第23巻 (昭和12年)		
4	4	100
7	4	〃
8	4	〃
9	4	〃
10	4	〃
11	4	〃
12	4	〃
第24巻 (昭和13年)		
2	3	100
3	4	〃
4	4	〃
5	7	〃
6	4	〃
9	2	〃
11	4	〃
第25巻 (昭和14年)		
9	1	100
11	4	〃
12	8	〃
第26巻 (昭和15年)		
3	7	100
6	1	〃
8	7	〃
9	6	〃
10	4	〃
12	1	〃
第27巻 (昭和16年)		
1	1	100
3	3	〃
4	1	〃
5	8	〃
6	7	〃
7	7	〃
8	7	〃
9	3	〃
10	1	〃
11	3	〃
第28巻 (昭和17年)		
5	4	100
6	4	〃
7	1	〃
8	4	〃
10	1	〃
11	2	〃
12	4	〃
第29巻 (昭和18年)		
1	2	100
2	1	〃
3	6	〃
4	4	〃
5	6	〃
6	12	〃
7	4	〃
8	4	〃
9	1	〃
10	2	〃
12	6	〃
第30巻 (昭和19年)		
1, 2	合冊 5	100
4	4	〃
5	4	〃
6	4	〃
7	4	〃
第32巻 (昭和21年)		
1, 2, 3	合冊 2	100
4, 5, 6	合冊 7	〃
10, 11, 12	合冊 8	〃

第 33 巻（昭和22年）

号数	残部	金額(円)
1 2 3	合冊 8	100
4 5 6	合冊 7	〃
7 8 9	合冊 9	〃

第 34 巻（昭和23年）

号数	残部	金額(円)
1 2 3	合冊 9	100
4 5 6	合冊 9	〃
9	8	〃
11	7	〃
12	15	〃

第 35 巻（昭和24年）

号数	残部	金額(円)
1	8	100
2	1	〃
3	2	〃
4	10	〃
5	4	〃
6	12	〃
7	7	〃
8	8	〃
9	5	〃
10	8	〃
11	2	〃
12	6	〃

第 36 巻（昭和25年）

号数	残部	金額(円)
3	17	100
7	4	〃
9	13	〃
11	5	〃
12	11	〃

第 37 巻（昭和26年）

号数	残部	金額(円)
1	15	100
2	7	〃
3	2	〃
4	4	〃
5	7	〃
6	9	〃
7	10	〃
8	1	〃
9	8	〃
10	5	〃
11	10	〃
12	13	〃

第 38 巻（昭和27年）

号数	残部	金額(円)
3	14	100
6	11	〃
7	4	〃
9	9	〃
11	9	〃
12	8	〃

第 39 巻（昭和28年）

号数	残部	金額
2	8	100
3	8	〃
5	9	150
6	10	〃

第 40 巻（昭和29年）

号数	残部	金額(円)
3	4	150
4	4	〃
5	9	〃
6	11	〃
7	13	〃
8	10	〃
9	10	〃
10	10	〃
11	8	〃
12	10	〃

第 41 巻（昭和30年）

号数	残部	金額(円)
1	1	150
2	3	〃
4	2	〃
5	1	〃
7	20	200
8	24	〃
9	2	〃
10	4	〃
11	15	〃
12	1	〃

第 42 巻（昭和31年）

号数	残部	金額(円)
3	1	200
4	1	〃
5	16	〃
6	20	〃
8	2	〃
10	20	〃
11	18	〃
12	2	〃

第 43 巻（昭和32年）

号数	残部	金額(円)
1	8	200
3	2	〃
4	19	〃
5	16	〃
6	14	〃
7	18	〃
8	11	〃
9	17	〃
10	17	200
11	14	〃
12	10	〃

第 44 巻（昭和33年）

号数	残部	金額(円)
1	22	200
2	16	〃
3	15	〃
4	13	〃
5	32	〃
6	10	〃
7	15	〃
8	14	〃
9	12	〃
10	12	〃
11	8	〃
12	11	〃

第 45 巻（昭和34年）

号数	残部	金額(円)
1	9	200
2	19	〃
3	8	〃
4	27	〃
5	4	〃
6	3	〃
7	21	〃
8	31	〃
9	30	〃
10	10	〃
12	3	〃

第 46 巻（昭和35年）

号数	残部	金額(円)
1	31	200
2	81	〃
4	49	〃
10	155	600
11	69	200
12	23	〃
14	22	〃

第 47 巻（昭和36年）

号数	残部	金額(円)
1	119	200
2	136	〃
3	17	600
4	56	200
5	32	〃
6	20	〃
7	3	〃
9	40	600
10	39	200
11	38	〃
12	12	〃
14	3	〃

第 48 巻（昭和37年）

号数	残部	金額(円)
1	41	300
2	50	〃
4	20	750
5	46	300
6	7	〃
7	3	〃
8	5	〃
9	24	〃
11	114	750
12	36	300
13	5	〃
14	32	〃

第 49 巻（昭和38年）

号数	残部	金額(円)
2	74	300
3	47	750
4	24	300
5	11	〃
6	9	〃
7	31	〃
8	14	〃
10	20	750
11	2	300
12	48	〃
13	7	〃

臨時増刊号

巻数	号数	報告書	残部	金額
46	8	鋳型分科会報告書	29	200
		〃 鋳型別冊	40	200
46	13	特殊鋼部会報告書	43	400
47	13	線材分科会報告書	51	400
48	3	中小型分科会報告書	45	500
49	9	製銑部会報告書	54	500
		〃 製銑別冊	50	1000
49	14	帯鋼分科会報告書	50	500